

広報



かわにし

昭和61年 1 / 10 No.329

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎ 0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 1月1日現在 —

男 4,735 (±0)

女 4,850 (+3)

計 9,585 (+3)

世帯数 2,309 (+1)

() 前月比較



穏やかに 年が明ける

(写真は、鶴吉地内から総合体育館方面を撮ったもの)

穏やかに昭和61年が明けました。
今年は、川西町が誕生してから
30年目という節目の年です。
新たな目標へ向かって、ステッ
プを切るチャンスでもあります。

主な内容

- ▷ 議会報告…〔2〕〔3〕〔4〕〔5〕
- ▷ 新年のあいさつ…〔6〕
- ▷ 合併30周年記念事業に関する報告書…〔7〕
- ▷ 行政改革大綱答申書〔8〕〔9〕

- ▷ 転作等目標面積…〔10〕
- ▷ 町史の窓…〔11〕
- ▷ ひろば…〔12〕〔13〕
- ▷ 情報…〔14〕
- ▷ 町内さんぽ…〔15〕
- ▷ 戸籍の窓から…〔16〕

1月の休日救急医

- 15日 山口 医院 (袋 町)
- 19日 富 田 医院 (神明町)
- 26日 中 条 病 院 (中 条)

2月上旬の予定

- 2日 大 島 医 院 (川原町)
- 9日 第二藤巻医院 (上 野)
- 11日 山 口 医 院 (下 条)

議会 報告

第七回町議会定例会が、先月十九日から二十六日までの八日間の会期で開かれました。

初日の十九日は、町政に対する一般質問、二十日は、五十九年度の各会計決算の認定、二十一日には、一般会計補正予算と条例の改正が審議されました。

二十二日から二十五日の間は休会となり、最終日の二十六日には、各会計の補正予算と条例改正の審議が行われました。上程された議案は、いずれも原案どおり可決されました。

定例会の概要を報告します。

一般質問で

町のあるべき姿を確認

信濃川発電所工事の

交渉現況は

◆田中 与三郎議員

①信濃川発電所工事の交渉現況について
住民の関心事は水の問題であるが、交渉段階での見通しを伺いたい。

②信濃川新大橋架橋問題の現況について



田中議員が質問のトップ

取り付け道路の着工年度等を説明願いたい。

③冬期排雪問題について
消雪パイプの井戸水を補うための側溝流水の利用や、屋根雪

投降の自己負担などについて伺いたい。

◆南 雲 町 長

①国鉄側との接触の中から、六十二年度まで着工がずれ込む可能性がないばかりでないという感触を得ている。

信濃川工事事務所は、水文調査の係を設け、水への影響に対する取り組みを強めている。

先行して着手をした十日町市と中里村の状況を参考として、川西町の工事をプラスに転じるよう配慮したい。

②新橋の完成年次は、国鉄信濃川第二発電所の完成年次である昭和六十五年ということで進みたいが、国庫の財政事情からはつきりとは答えられない。

取り付け道路関係も、定期的な報告、説明の機会を設けたい。

③除雪の問題は、除雪協力会を中心に、地域の方々からたいへんな協力をいただいている。

当面は主力を機械除排雪に置く一方で、地下水のかんようを模索しているところである。深井戸への表流水注入も一つの方法である。

今シーズンから、消雪パイプ敷設路線の屋根雪処理分は四〇%の負担を願う。

町財政の見通しと 予算編成方針

◆上村 広治議員

①昭和六十一年度町財政の見通しについて

六十一年度一般会計予算編成に当たっての財政の見通しと、町長の方針をお聞かせ願いたい。

②町行造林事業の今後について
町行造林事業は、新植だけでなく、川西町の山林は地味が悪く、育ちも良くないと聞く。また、作業員の確保もたいへんであろう。山林利用の方法は観光や杉以外の植栽などいろいろあるが、造林計画をどう進めていくのか伺いたい。

◆南 雲 町 長

①国の高率補助金一律削減という大きな問題がある。補助制度そのものに対する見直し論が大蔵省を中心に、中央で高まっているが、過疎法の適用など、高率補助の特例措置が効果的に運用できるよう、関係団体ともどもに運動をする必要がある。

町税増収対策としては、産業の振興や有職人口の増加策が考えられる。町政の重点施策として進めている企業誘致は、この両面を備えており、有効な手段である。住み良い町づくりを進め、人が集まってくれるようにすることがたいせつである。

村おこし事業は、地域に根ざす特産物や観光資源を開発することによって、住民が生きがいを感じ、町が活性化することにある。したがって、今まで川西町が進めてきた産業文化等の町づくりは、すべてが村おこし事業につながっている。今後はより川西町らしい特色を出す方向で予算化に努めたい。

克雪住宅資金の貸し付けについては、新年度から二次的な措置をしなくても済む融雪型屋根には、利率引き下げで対応したいと考えている。

②今後は、造林可能面積、保育面積、作業員の確保など、諸条件を総合的に考え合わせながら計画をしていく。

杉は長期的な取り組みが必要であるので、いちようやくるみ、くり、あるいはぶな、やまざくらなど、中短期的なものについても村づくり事業の一環として検討をしなければならない。

高齢者のスポーツ

冬期対策は

◆柳 藤 作 議員

①高齢者の冬期間におけるスポーツの取り組みについて
最近、高齢者のスポーツが盛んになり健康の要因となっている。しかし、スポーツは年間を通じて行ってこそ効果が上がる。高齢者は冬期間家にこもりがちになるが、対策をどのようにお考えか。また、総合体育館の暖房についても使用目的に合わせて改善していただきたい。

◆南 雲 町 長

①スポーツは自主的、自発的に行うべきもので、継続化することが必要である。

高齢者のスポーツ対策は、健康管理の面からも慎重を期して行わなければならない。

高齢者の方々から冬期間のスポーツについても希望が出ている。教育委員会では、具体的な実施方策を検討中とのことである。

総合体育館の暖房については、

競技場は実技を通して汗を流し合うことに意義がある。

高齢者の休憩や話し合いの場には、暖房設備のある集会室を開放して、有効に利用していただきたいと考えている。

主目的が体育館ということなので、どこの市町村も同じ対応と思われるが、多面的に有効利用を図っている具体例があったら聞かせていただきたい。

答弁をする町長



産業おこしは

人づくりから

◆田 口 直 人 議員

①人づくりにについて

地域の産業おこしに成果を上

役場駐車場の

拡張と無雪化を

◆小林 寅 雄 議員

①役場駐車場の拡張と冬期対策について

保健センター建設計画を契機に抜本的な駐車場対策を講じ、町民に親まれ、利用されやすい役場、保健センターとしていただきたい。また、庁舎前駐車場は、完全無雪化を願いたい。

②克雪基本計画の策定と克雪生活圏整備事業の導入について

克雪基本計画を策定し、二十

一世紀の町の将来像を明らかにして、町民に夢と希望を抱かせていただきたい。また、克雪生活圏整備事業の導入の見通しと今後の対応についても伺いたい。

◆南 雲 町 長

①役場の駐車場は狭く、来庁される方に迷惑をかけている。しかし、庁舎をほかのところに建築することもできず、当面は隣接地の方に協力を願う以外にない。保健センター新設にからめ、前向きで検討をしたい。

②町では、住民のニーズにこたえるため、逐年道路除雪の濃密

化を図っている。また、克雪住宅資金の貸付制度も創設した。

これらの手段は、地域の皆さんの温かい理解と協力を得て行っているところである。

町が目標としている克雪計画は、川西町総合開発計画の定める基本事項に添って行政の最重要課題として実施している。克雪基本計画については、総合開発計画と重複することになりかねないが、極めて重要な問題であるので、早急に事務局で討議、検討をしてみたい。

克雪生活圏整備事業の導入は、鋭意指定の働きかけをし、お願いしているところである。

た。その結果、農業、農村への親しみが薄れてきた。これは、この地に愛着を感じなくなってしまうことでもある。小学生、中学生の指導計画に農業の体験学習を取り入れる必要を感じるが、町長の考えを伺いたい。

◆南 雲 町 長

①地域の産業育成を成功させるためには、そのリーダーとなる人づくりがたいせつである。

国県のソフト事業を活用する中で、町内の適任者や町職員か

ら研修、視察などに積極的に参加してもらっている。海外を含む先進地での体験学習を通じて、そこで得た知識、技術を参加者一人のものにせず、仲間づくりに生かしてもらいながら、町発展に結びつけていただきたい。

②川西町の将来を担うべき児童、生徒から、農林業の勤労の尊さを体験してもらうことは、農業後継者の育成上からも重要な一つの方策と考える。

(一般質問前ページから)

工場誘致と

農業振興の関係

◆ 柄沢 悌二議員

①工場誘致に伴う農業振興等関連事項について

企業の誘致または進出が、農業立町にもたらすものは喜ばないこともある。

新信濃川架橋近隣の開発計画、もしくは構想があったら伺いたい。

また、企業誘致による公害、土地価格の高騰、一般車両の農道進入等は農業経営に悪影響となるが、これらの防止策をどのようにお考えかも伺いたい。

◇ 南雲 町長

①農業振興地域整備計画は、農業の発展のために農地の乱転用を防ぐと設けたものであるが、区域設定後十六、七年経過して

いる。町が総合的な開発を促そうとするには、このへんで計画を見直すことも重要な行政課題であると考えます。

このような観点から県に対して見直し町としての指定を要請しているところであり、六十二年度の指定を期待している。

架橋近隣の開発は、現段階では内部的な構想しかない。架橋促進委員会からは、河岸段丘の上の地域は生活関連地帯に、下の地域については工業団地化を促してはという意見をちょうだいしている。直接これらの土地

にかかわってくる地域住民の皆さんの意向や農振法の問題など、クリアしなければならぬことがたくさんある。

企業誘致は、当面は若年層の雇用機会の拡大、あるいは男子雇用型という目標で対応しなければならぬ情勢にある。公害

のない企業ということだけを前面に押し出していたのでは誘致は難しい。この場合、町単独の公害規制基準という手段も考えられるが、現実的には県の公害防止条例によらざるを得ないというのが実態である。

地価の問題については、企業側から土地の価格を引き上げることは考えられない。

工場立地に伴う環境整備については、農業経営などの支障とならないよう、企業に努力を促すと同時に、町としても条件整備に当たる。

優良農地の転用ということは、農業立町の町にとって大きな影響が出ることを認識しながらも、農工一体の町づくりという課題に向けて取り組まなければならないのが企業誘致活動ではないかと考える。

条例関係

助産費の支給

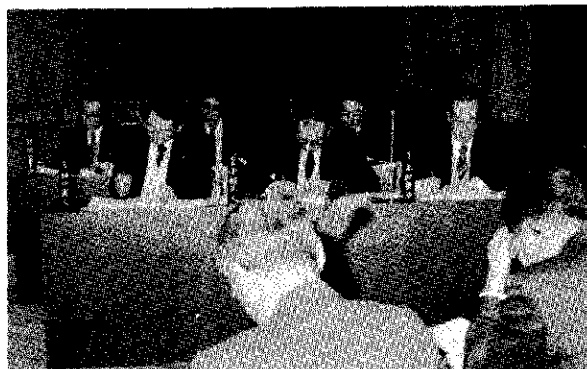
三月から十三万円に

▼妊産婦及び乳児の医療費助成に関する条例の廃止に伴う経過措置に関する条例の一部改正

定義のところで用語に一部改正があったなどです。

▼乳児の医療費助成に関する条例の一部改正

これも前記の条例と同様の改正です。



向かって右側の議席

▼国民健康保険条例の一部改正
今年の三月一日から、助産費の支給が三万円アップの十三万円、葬祭費の支給が一万円アップの五万円となります。

▼農業共済条例の一部改正
法律改正に伴う掛金基準率の改正などを行いました。

▼町立学校設置条例の一部改正
これによって、本年度限りで高倉小学校が閉校と決まりました。

▼川西町職員の給与に関する条例の一部改正
給料表などの改正がありました。引き上げ率は五・二七％という数字です。

※川西町職員の休日・休暇に関する条例の一部改正は割愛しました。



議長席と三役等町側の席

良質米奨励金

現行確保の請願

▼昭和六十一年産米の良質米奨励金現行確保に関する請願

「国は、稲作農家の良質米生産意欲の維持と稲作経営の安定を図るため、昭和六十一年産米の良質米奨励金現行確保について早期に決定するように」という内容の請願が新潟川西農業協同組合長から出ていましたが、議会はこれを採択し、意見書として可決のうえ、関係大臣に提出しました。

補正予算

一般会計

三十億円に迫る

▼六十年度一般会計補正予算
(専決第四号)

名誉町民の公葬と川西中学校長の校葬に必要な経費の補正で、議会を開く暇がないために専決処分していたものです。

歳入歳出にそれぞれ二百五十六万九千円を追加し、予算総額は二十八億八千八百八十六千円となりました。

▼六十年度一般会計補正予算
(第五号)

歳入歳出にそれぞれ八千三百一十七千円を追加し、予算総額

を二十九億六千四百八十二万三千円としました。

歳入の主なもの、増分として、固定資産税が一千万円、地方交付税が九百三十四万四千円、災害復旧費国庫負担金が一千万円、同県補助金が四千万円、繰越金が千六百七十一千円など、減分として、災害復旧費委託金の千六百九十万円などがあります。

歳出では、一千万円以上のものを書き出すと、オンライン業務委託料などの事務改善費が千二百七十四万四千円、農地農業用施設災害復旧費が二千二百九十九万円の増、公共土木施設災害復旧費が千五百二十九万円の増、公債費が二千七百四十三万八千円の増、それに農村総合整備事業費の一千七万円の減があります。

▼六十年度一般会計補正予算
(第六号)

歳入歳出にそれぞれ三千二百三十万四千円を追加し、予算総額は二十九億九千七百七十二万七千円となりました。

歳入は、地方交付税の二千四百五十万四千円の増が主です。

歳出は、災害復旧工事請負費に七百七十万円の追加などがありますが、追加のほとんどは給与改定に伴うものです。

59年度決算

黒字総額は

2億2,461万円



ま ん 中 の 議 席

▼六十年度国民健康保険特別会計補正予算 (第三号)

歳入歳出予算の総額を五億三千二百二十六万二千円としました。

▼六十年度国民健康保険診療所特別会計補正予算 (第一号)

予算総額を歳入歳出それぞれ八千九百四十五万二千円としました。

▼六十年度仙田へき地出張診療所特別会計補正予算 (第一号)

歳入歳出にそれぞれ三十五万六千円を追加し、予算総額を二千八百八十二万二千円としました。

▼六十年度農業共済事業特別会計補正予算 (第一号)

歳入歳出にそれぞれ一億九千七百六十六千円を追加し、歳入歳出予算総額はそれぞれ一億九千五百三十二万八千円としました。

十五万円となりました。

これは、六百三十二万五千円の減額で、歳入歳出予算の総額はそれぞれ九千六百一十一万四千円となりました。

▼六十年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第一号)

歳入歳出予算の総額をそれぞれ四千三百三十二万八千円としました。(水道事業会計補正は割愛)

59年度の各会計決算が別表のとおり認定されました。

一般会計は1億3,882万円の黒字となり、前年度に引き続いて1億円台という大幅な繰り越しになりました。

また、特別会計でも、7会計全部が黒字決算となり、合わせると8,573万円の繰り越し額です。

一般会計と特別会計を合計した黒字総額は2億2,461万円となりました。

59年度各会計の決算状況

単位：円

会計区分	歳入	歳出	差引額
一般会計	2,993,031,501	2,854,149,419	138,882,082
特別会計			
国民健康保険	482,554,018	474,228,557	8,325,461
国保診療所	95,637,587	93,677,021	1,960,566
仙田へき地出張診療所	27,849,758	27,414,888	434,870
老人保健	450,495,533	431,251,073	19,244,460
農業共済事業	83,974,983	31,111,753	52,863,230
地域休養施設	102,618,705	100,942,881	1,675,824
簡易水道事業	48,505,130	47,276,670	1,228,460
合計	4,284,667,215	4,060,052,262	224,614,953

21世紀を目ざして



川西町議会議長

押 木 元 男

新年のごあいさつ



川 西 町 長

南 雲 春 雄

町民の皆様には、昭和六十一年の新春を希望に満ちてお迎えになられたこととお慶び申し上げます。来るべきこの一年間が、ご家庭にとって健康に恵まれ、笑顔の絶えないうちに過ごされますよう、心から祈念いたします。

十年来、国も地方も赤字体質の改善を至上課題として、減量政策に腐心しています。国県に大きく依存している町の経済は、ますます苦しい状況下にあります。この執行に当たる町当局は、財政の体質強化を図るとともに、最少の経費をもって最大の効果を得るために日夜努力しておられます。橘小学校、上野小学校の校舎改築を始め多くの投資がなされた中で、南雲町長の公約の一つである固定資産税千八百万円の減

川西町民の皆様、昭和六十一年のさわやかな新春を迎えられ、まことにおめでとうございます。皆様には、平素町勢伸展のため、格別のご協力、ご叱正をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、二年続きの大雪で明けた昨年は、夏の猛暑、秋の長雨と、記録づくめの天候異変の年でありましたが、幸い米は二年連続して七万俵の売り渡しを達成したほか、町内からコシヒカリを献上するなど、良質米産地の名をさらに高めることができました。懸案の五升苗ダムの完成は、早速その威力を十分に発揮して、増産に大きく寄与いたしました。また、町内の工業生産額は、初めて九十億円を突破することが確実となり、町経済の推進役になりま

した。関係各位のご協力に、深い敬意と感謝を申し上げる次第であります。

過日、新年度政府予算案が発表されました。私は昨年のごあいさつで、今後はいっそう厳しさが求められるとし、その対応策を申し上げます。五十九年度決算では、おおむね期待どおりの成果を収め得たものと考えております。

本年は、川西町誕生三十周年の記念すべき節目を迎えました。これを意義あらしめるため、川西町史の発刊を始め、諸々の記念行事を実施したいと存じます。官製行事を排して、地域の連帯意識を高めるような内容にすべきだと提言されていますので、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

当面する行政課題は、財政の健全化税を行い、町民の負担の軽減を図るなどのことにその努力が如実に表れています。

昨年の改選により新たな決意をもって誕生した町議会も、皆様の代表として町政に参画し、変貌する内外の社会経済情勢を的確に捕らえて、活力ある地域社会の実現のために最大の努力をいたす所存でありますので、皆様のいっそうのご指導とご協力を心からお願ひいたします。

昨年は、上越新幹線上野乗り入れと関越自動車道の開通により、中央との距離がさらに縮まりました。また、国道404号線の改良工事や新十日町橋の架橋と道路網の整備は、町の発展に大きく貢献することでありましょう。

を軸としながらも、

- ① 克雪対策の強化
- ② 若者の定住、雇用の場を確保する企業誘致
- ③ 各産業の後継者確保

を推進することが必要であります。

また、国鉄小千谷第三発電所は、明六十二年春着工（見込み）を控えて、国鉄交渉は正念場を迎えます。十日町大橋は、下部工着手となりますが、その取り付け道路や周辺の開発を含めて、重要問題が山積しています。

皆様の倍旧のお力添えを切にお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご自愛とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

四十年代の高度成長期、五十年代の安定成長期を受けて、六十年代には高度技術による繁栄が期待できると思います。世界のトップレベルにある日本の競争力は、海外の悪条件によって実力を十分に発揮できずにいますが、洋たる未来へ弾みをつける日がきっと来ると思います。日本がさらに重要な地位を占めるとき、川西町はどのような姿になるのでしょうか。そして私たちの日常生活はどのように変革していくかなければならないか、という問題意識を持ちたいと思います。

克雪から利雪へ、雇用の場の拡大を、村おこし事業により地域の活性化を、生活環境の整備を、そして二十一世紀の豊かな川西町を目ざしましょう。

を軸としながらも、

- ① 克雪対策の強化
- ② 若者の定住、雇用の場を確保する企業誘致
- ③ 各産業の後継者確保

を推進することが必要であります。

また、国鉄小千谷第三発電所は、明六十二年春着工（見込み）を控えて、国鉄交渉は正念場を迎えます。十日町大橋は、下部工着手となりますが、その取り付け道路や周辺の開発を含めて、重要問題が山積しています。

皆様の倍旧のお力添えを切にお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご自愛とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

合併30周年記念事業は 町民みんなの手で

実行委員会が「報告書」を提出

合併30周年記念事業実行委員会は、昨年12月10日、「記念事業実施に関する報告書」を町長に提出しました。

報告書の概略をお伝えしますが、事業実施に当たっては、町民自身の行事とするよう、そのほとんどを各種団体の自主的運営にゆだね、地域の連帯を高めるように望んでいます。

メイン会場となる総合体育館の音響効果を、放送施設を取り替えることによって改善する。

合併30周年を契機に、さらに発展する川西町にふさわしい記念事業テーマを募集する。
※応募方法—官製はがきを使用、あて先—役場内「記念事業テーマ係」、締め切り—1月20日（必着）、詳しくは「広報」328号を。

作文（論文）を募集し、広報紙に掲載する。
絵画、書道、生花等を広く町民から募集する。

絵画、書道は11月の記念式典に照準を置き、美術協会、婦人会、教育委員会が実施機関となる。

(1) 8月15日に「芸能まつり」を実施する。各地区ごとに予選的なものを行い、この日に総合体育館で全町の芸能を披露する。

企画、実行は、商工会、婦人会、地区振興会に依頼する。

(2) 「川西音頭」を創作する。

作詩…一般から公募 作曲…愛好者に依頼
振り付け…公民館を中心に愛好者に一任

公開発表は11月の式典で行う。

(3) 町内一周駅伝大会

企画、実行のすべてを体育協会に一任する。

(1) 記念誌発行

写真は広く町民から募集する。

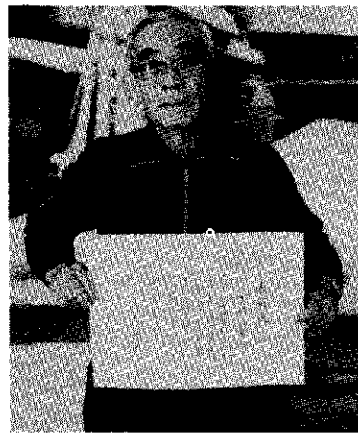
(2) 花いっぱい運動

全戸に花の種苗を配り協力願う。

(3) タイムカプセルの埋蔵

10年後の願望などを家族ごとに記入し埋蔵する。40周年の際に取り出して各人に返す。

式典は11月1日（土）を希望する。1部を式典、2部を町民の集いとする。



表彰状を手に高橋さん

各種統計調査の調査員として、長年にわたりお務めになられた高橋清松さん（高原田）は、昨年十二月五日に、県庁で県統計協会総裁表彰（総裁は県知事）を受賞されました。

高橋さんは、工業統計調査の調査員として昭和四十九年から五十九年までで十一回、商業統計調査は四回、事業所統計調査も三回、また、五十四年には農林業センサスを実施されるなど、各種統計調査の回数は実に二十三回にも及び、調査内容の確実性も高く評価されています。

「調査をするには留守のところへ行っただけではどうにもなりませんので、休日や夜になつてしまいます。大ぜいの皆さんの協力によつての受賞と感じています」と高橋さん。

松乃井酒造場が、工業統計調査で「正確かつ迅速な報告に努められた」として、通商産業大臣表彰を受けられました。

表彰状の伝達は、昨年十二月五日に県庁で行われ、古沢社長が出向されました。

松乃井酒造場は、昭和二十五

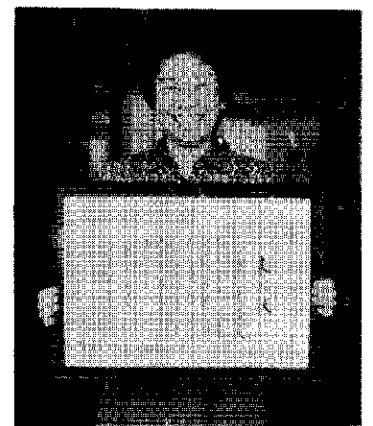
年、調査票の提出期限を守り、記載内容も適正、明細であること、調査に協力的なことが認められたものです。

古沢社長は「思いがけないことです。調査員の問いに正確に答えてきましたが、それを積み重ねた結果でしょうか」と喜びを表現されました。

松乃井酒造場を

通商産業

大臣が表彰



古沢社長さん

「川西音頭」

の作詩募集

合併三十周年実行委員会では、「川西音頭」の作詞を次の要領で募集します。

入選作品は作曲したうえ、振り付けなどをして、広く町民の皆さんから愛唱していただく予定です。

ふるってご応募ください。

▽応募資格 川西町民または町内に勤めている人

▽応募方法 市販の原稿用紙を使用し、末尾に町内名、氏名、年齢を明記する

▽あて先 川西町役場内「川西音頭係」

▽締め切り 四月末日

▽入賞 入選一編

* * *

「町づくり」は……

行政の決断と町民の理解とで

「行政改革大綱」答申書の概要

川西町は、昭和五十六年十一月に川西町臨時行財政調査会を設置し、その答申に基づき、行財政改革を進めてきました。

町では、社会経済情勢の変化と厳しい財政事情の中で、さらに簡素で効率的な行政を推進するため、六十年四月に行財政改革推進本部を設け、庁内で検討するとともに、十月には、町民各層の代表八人で構成する第二次川西町臨時行財政調査会（小林正人会長）を設置しました。

町長は、十月四日付で、調査会に「川西町行政改革大綱」の策定についての諮問を行いました。

調査会では、六回の会議を重ねて答申書を作成し、十二月十三日に町長へ提出しました。

答申書の概要は次のとおりです。

行政改革大綱の基本方針

川西町は、昭和四十四年から行政の基本的な指針として、「総合開発計画」を立て、時勢に合わせて見直しを行ってきました。

石油ショック以来、長期的な低迷経済期に入り、川西町はそれに対応するため、五十六年に町独自の臨時行財政調査会を設け、困難な財政運営、増え続ける行政需要を、いかに効率的、合理的に運営し、減量化を図るべきかの、詳細にわたる答申をしていただきました。

今回の、国の方針に基づく「川西町行政改革大綱」を作成するに当たっては、前述の町の基

し、行政に対して町民の理解と協力を得ながら、実現可能なものから実施する。

④行政改革を旧慣打破として捕らえず、行政の現状を直視して、いかに効率的に改善運営すべきかを検討し、単に減量のみを心がけることなく、新しい時代が要求する行政は、積極的に取り組む勇気と決断をもって推進する。

行政改革の

基本的方策

川西町は、総合開発計画や臨時行財政調査会の答申に基づき、計画的な行政を実施しています。が、これらの実績を踏まえて、さらに一歩進めた行政改革が推進されなければなりません。

事務事業の

見直し

事務事業は常に見直しを行い、廃止、縮小、統合、終期設定、民間委託、あるいは新設、拡張など、適切な判断によって合理化を図らなければなりません。また、住民負担については、受益者負担が原則となります。

◆法令外負担金・補助金の合理化

法令外負担金・補助金は、削減、廃止の方向としますが、さらに育成強化を図らなければならないものや、新しい事業おこしに配分を行うなど、ケースバイケースで適正化を図る必要があります。

◆事務の効率化、

合理化、軽量化

行政事務は年々増加しています。したがって、事務、事業をいかに合理化するかが課題となります。OA（オフィスオートメーション）化や民間への事務委託なども考える必要があります。

◆情報公開制度の検討

情報公開制度は、時代の成り行きから、町としても近い将来の制度化に向けて、検討を進めなければなりません。

◆職員の適正配置

行政執行の原動力となる町職員の資質の向上、適正な配置は、重要な課題です。事務配分の平均化を図る努力もしなければなりません。また、研修を強化し、新しい時代への対応を常に心がける職員の養成が必要です。



答申書を朗読する小林会長(右側)

◆使用料の適正化

使用料は、行政が行うべきサービスと、受益者負担の原則に立つ使用料との区分が、明確にされなければなりません。また、その額が適正ということも当然です。

組織・機構の簡素合理化

◆組織・機構の見直し

町の組織・機構は、住民に対して分かりやすくしなければならぬのはもちろん、事務の重複を避け、共通事項は同一の課・係で処理ができるよう、措置されなければなりません。

◆出先機関等の見直し

道路環境の整備や生活様式の

向上などによって、出先機関の

利用形態が十年前とは大きく変わってきました。行政機能の薄れた出先機関の統合・廃止や、社会情勢が要求する新しい機関の設置を検討し、年次的に改善を行う必要があります。

◆付属機関(各種審議会、委員会等)の見直し

行政執行の上で、これを補助する機関として重要な役割を占める付属機関は、法令による機関を別にすると、住民の行政需要の変化、増大によって、その数・量とも増加しています。この再編整備は、財政運営に大きく貢献する可能性を含んでいます。

給与の適正化

報酬や給料などの人件費は、常に財政硬直化の要因として取り上げられますが、労働力提供の代償である職員給与は、単に財政事情のみで抑制することはできません。

職員の勤務の程度や状態、あるいは創造力などを評定して、昇降格への適用を図ったり、有能な人の昇進の道を開くことも、質の高い職員を要求する現在の社会情勢下においては、必要な

措置といえます。

定員管理の適正化

適正化

川西町の職員は、類似の町村と比較すると多くなっています。これは、高度経済成長期に、多岐にわたる事業消化の必要性から生まれたものです。

時代の移り変わりで行政の執行内容も変化している中で、事務・事業の見直しを徹底する中で、業務の省力化を図り、職員の定員管理を適正化しなければなりません。

職員の新陳代謝を促そうという勸奨退職規程を活用することと、適切な新規採用で、職員間に新風と活力を注ぐとともに、職員定数の根本的な見直しも必要となってきます。

民間委託のあり方

あり方

小規模な自治体での行政事務・業務は、一般的には民間委託に適しません。民間への委託が可能と思われる町道路線の除雪、公共建物の清掃管理などを検討しなければなりません。

OA化等

事務改革の推進

町行政の効率的な運用を図るための事務改善については、すでに事務改善委員会の答申や、電算事務処理研究委員会の報告書などによって、電算化が最も効果的とされ、実質的な取り組みに入っているとあります。

今後は、電算処理をいかに効率的、合理的に運用するかを検討しなければなりません。

新しい業務のため、推進、運用のしかたによっては、事務・事業の合理化の幅が大きく、財政への影響も大きいことから、慎重な検討と的確な決断が必要とされます。

61年度

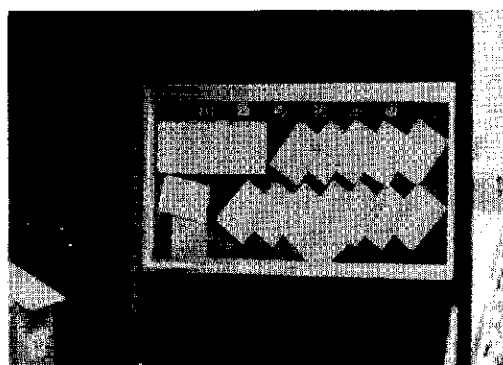
「農業標準賃金」決まる

農業委員会では、このたび、昭和61年度の川西町農業標準賃金を決めました。

男子 1日 5,900円
女子 1日 5,200円

実施時期は4月1日からです。

これは、あくまでも標準賃金ですので、地区の実情や作業の内容などにより、頼む人、頼まれる人のお互いに納得できる方向で対応してください。



掲示板を移動

役場の正面駐車場にあった掲示板を、玄関の向かって右側に移動しました。

条例の公布や財政状況の公表などは、この掲示板で行いますのでご覧ください。

転作等目標面積

61年度は

109.8ヘクタール

昭和六十一年度の転作等目標面積が、昨年十二月二十日に県から別表のとおり配分内示されました。

国では、六十一年度の転作等目標面積を決定するに当たり、「二年連続の豊作を背景に、三度の過剰米発生防止とゆとりある米管理の確保の両面に配慮した」としており、この結果、前年度の軽減調整分が還元され、全国、県、川西町ともに第三期基本目標面積の水準となりました。

町では、二月中旬ごろに各集落への配分を行う予定です。六十一年度は水田利用再編第二期対策の最終年度に当たり、次期

川西町の61年度転作等目標面積 (単位: ha)

区分	昭和61年度	昭和60年度	前年度比較 (61-60)
転作等目標面積	109.8	104.2	5.6
内 転 作	99.2	93.7	5.5
他 用 途 利 用 米 (生産予定数量60kg/俵)	10.6 (830俵)	10.5 (801俵)	0.1 (29俵)

※他用途利用米の昭和59年度面積には青刈稲からの移行分を含んでいない。

対策への円滑な移行を図るうえから、もたせつな年度です。水田利用再編対策の趣旨を十分ご理解いただき、目標達成はもとより、収益性の高い作目の定着化に向け、農家の皆さん方をはじめ、関係各位のいっそうのご努力とご協力をお願いします。

なお、昭和六十年度の川西町の転作実施状況をみると、目標達成率は、〇五・一％で、その内容も集団転作率五三・八％という良好な成績になっています。

ねん

新しい年金制度

障害基礎年金とは……

改正後の国民年金の基礎年金は、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金の三種類となっています。

今回は、障害基礎年金について説明します。

障害基礎年金

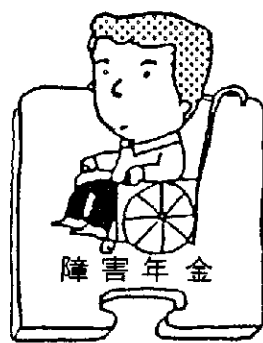
現在の障害年金は、拠出年金と福祉年金に分かれています。改正後は障害基礎年金(二級・二級)に一本化され、二十歳前に障害となった人にも、二十歳から障害基礎年金が支給されます。

このため、現在障害福祉年金を受けている人は、昭和六十一年四月から障害基礎年金を受けることになり、障害福祉年金の制度は廃止されます。

新たに子の加算が

障害基礎年金の受給権が生じたときに、その人によって生計を維持されている十八歳未満の子、または二十歳未満で一定の障害がある子がいる

ときは、その子の数に応じて加算が行われることになりました。



した。

すでに障害年金を受けている人についても、前記と同様の子がある場合に加算が行われます。

なお、今までの障害福祉年金の受給者に当たるような人は、本人に一定額以上の所得があるときには、年金の支給が停止されます。

きん

ふくし

受給に必要な期間

受給に必要な期間は、初診日前に保険料を納めた期間(保険料の免除を受けた期間を含む)が加入期間の長短に関係なく、三分の二以上あることです。

なお、昭和七十一年三月までは、前の要件に該当しなくても、直近の一年間が保険料納付済み期間であれば受けられます。

年金額

▽一級障害 七十五万円(月額六万二千五百円)

▽二級障害 六十万円(月額五万円)

▽子の加算 第一子・第二子にはそれぞれ月額一万五千円、第三子以降には一人につき月額五千円

公的年金制度主な改正点

①「基礎年金」制度の導入
すべての国民が加入②給付水準と保険料負担の適正化③婦人の年金権の確立④障害年金の充実——など。

塩がなかった

ころの話

テレビの実況で関取衆が塩をまくと、戦後の混乱の中で食糧難にあえぎ、遠い浜辺の村にまで塩買いに出かけた四十年前の苦勞がよみがえり、平和で豊かな町に生きられるみ代をいまさ

しの純米を届けようとしたが、運ぶ途中で孫左衛門や木落の渡し場あたりの検問にあり、食糧管理法違反で米を没収される悲しい事態が相次いだ。

昭和二十年は記録的な大雪で春が遅く、その上七月には六十年來の大豪雨に遭い、十月にも五日間連続の大雨に見舞われた。仙田村の至る所で土砂崩れが起こり、沖立や小根岸では堤防が千三百メートルも決壊して、川

戦前に施行された飯米消費規制や、生活必需物資統制令が戦後もそのまま適用されたため、欲しい物品を自由に売買するこ

泣き面に蜂とでもいおうか、敗戦のショックに加えて稲熱病の被害がまた大きく、復員兵や引揚者が増加するにつれて深刻な食糧不足となった。米が絶えて、さつま芋とその蔓や馬鈴薯が主食の座につき、どんぐりの実や野菜の莖、葉、山草など、口に入る植物はなんでも食べて飢えをしのぐ有様となった。

とができず、衣食のすべては役場の配給に頼らなければ生きられなかった。

義理人情に厚くて、あるていど融通のきく農家は、このような世相下で親類や縁者になけ

物々交換が盛んに行われた。

町史の窓

砂糖が三年ぶりに配給されたのは二十二年の師走であったが、一人当たり三百グラムの中白を手にする、二合五勺の配給米がその分だけ差し引かれた。二十三年九月には家庭用のマツチが九年ぶりで自由販売となり、十一月には主食が一般二合七勺、青少年二合九勺に増加された。二十四年四月には野菜類の配給統制が六年ぶりに解除され、二十五年には木炭、たばこ、魚、衣料品、酒の統制が撤廃されてようやく自由販売になった。砂

栄養失調の人が多くなり、庶民の生活をいっそう悲惨にしたのは、昭和十七年から配給制で扱われてきた食塩が減、欠配したことであった。この時代は、敗戦国民に小麦粉やミルクを放出しても塩を贈る武将はなく、役場が心配しても無い塩は配給できず、住民が自らの手で見つけるしか方法はなかった。

いま、暖かい部屋で、敗戦の受難も知らず豪儀に塩まく力士たちを見ていると、苦しかった時代を体験しただけに感慨無量で、いみじくも、塩の確保に奔走してくれた役場の衆(南雲守現助役たち)の顔が浮かんだりする。戦後の無秩序と混乱の中で、食糧や塩の確保にだれよりも心を痛めたのはときの配給係や町村長ではなからうか。

糖が店で自由に買えるようになったのは、実に二十七年に入ってからのことである。

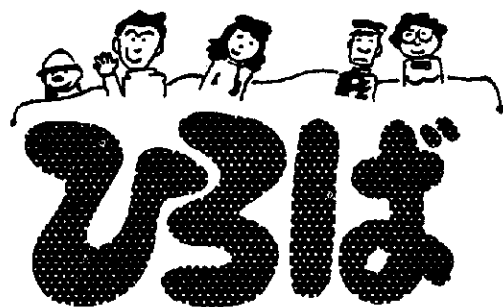
苦難の時代に、町村民の生活を支えてくれたのは、闇屋と呼ばれる村まわりの商人たちであった。あらゆる物資が不足していたが、不思議なことに、米や食糧品のほか純綿の衣料品、ゴム長靴、皮のカバン、ニュームの鍋、バケツ、せつけんなどの生活必需品をどこからともなく仕入れて来て、なかば公然と誇らしげに売ってくれるのが闇屋であった。

仙田村から羽越本線の鼠ヶ関へ行くには、十日町駅を出る一番列車に乗りなければならず、午前三時に起きて若ノ窪を越えた。駅で切符を買おうとしても越後川口までしか売ってくれず、検札をしながらのキセルや乗り越しに気を使い、県北の府屋あたりに降りると午前が終わっていた。

知らない顔の漁師のオカミサンに頼み、やっとの思いで持参した闇米を見せると、それでもかなりの塩を好意的に分けてくれたが、この浜にも塩買いが押しかけて思いどおりには買えない時世になっていった。

重いリュックを背負って鈴生りの列車に乗り、いくつかの駅を乗り継いで越後川口に着くと、十日町行の最終列車はとくに出たあとであった。駅前旅館に泊まるにも食券は持たず、余分の銭もあろうはずがなくて、飯山線に沿った雪道を夜どおし歩き、上野の縄手にかかる一番列車のボーが聞こえた。

※純米Ⅱ当時はイリゴやアラモトなどを混ぜて食べていたため、混ぜていない米をこう呼んだ。



初日の出こそ望めませんでしたが、時おり日が差すという、穏やかな元日でした。

松の内も毎日太陽がのぞいてくれました。

合併30周年の記念すべき年にふさわしい幕開けといったところでしょうか。

あなたにとって、この1年が充実した年となるよう、祈念いたします。

出初め式

今年は総合センターで

五日に総合センターで出初め式が行われました。

今までは各地区ごとでしたが、今年は合同という形をとりまし

たので、三百人近くが集まり、引き締まった空気が会場を包み込みました。

お互いに気をつけ、無事故、無火災の年にしましょう。

元日に

卓球大会

第一回川西町オープン卓球大会が、元日に川西中学校体育館で開かれました。主催は川西町卓球協会です。

参加者は、郡市内の卓球愛好者約八十人で、小学校五年生か



敬礼に気持ちも引き締まります

トーコーが操業開始

ねん糸加工会社トーコーが、先月24日に操業開始しました。

トーコーは、川西町の仲介によって、高橋工務店と大東紡織が協力し、新会社を設立したものです。

かせ機のスイッチを入れる高橋社長



昔の道具で もちつき

歴史民俗資料館では、先月三十一日に、収蔵民具を使つてのもちつきを行いました。

使用民具は、うす、きね、大正がま、鉄なべ、鉄がま、角せ

1斗2升もつきました



川西町の積雪状況

(単位: cm)

月日	61年	60年	59年
1・1	60	260	132
1・5	99	228	155



「ハラいっぱい。でもおかわり」

いろいろなど、もちつきに要するものいろいろです。
労力と材料は、伊友のお年寄り有志が提供してくださいました。
集まった四十人ほどの子供たちは、きねつきもちをおいしく食べ、川西高校の駒形校長先生から「おもち」の話をしていただき、満腹、満足の様子でした。



なかまの家の

「クリスマス忘年会」に サンタが登場

なかまの家の「クリスマス・忘年会」が先月8日に総合センターで開かれました。

サンタクロースがソリにプレゼントを載んで登場し、なかま、たち1人1人に大きな袋を手渡しました。

プレゼントを渡すサンタ



遠きにありて ふるさとを思う

松本市 樋口 晴夫さん
(中仙田出身)



たふるさとが、しっかりと私を覚えていてくれたことを知った時の驚きとうれしさと懐かしさは、たぶん他の人には分かっていただけないと思います。

紙面は、忘れていた地名や懐かしい方々の人名であふれ、それぞれが思い出を呼び起こしてくれました。

この度は「広報かわにし」を送っていただき、ありがとうございます。昭和二十五年春、戦後の混乱は、まだ品不足や食糧不足の問題を抱えながらも、人心はようやく治まり始めてきました。そんな昔、中学を卒業して後にし

い豊かさを目覚ましい発展であり、人の心の変わらぬ温かさであります。反面、時勢に抗し得ない過疎や高齢化を見るとき、やりきれない寂しさを感じるのは私だけでしょうか。

宿命ともいえる豪雪は、たぶん過疎化を早める要因の一つでしょうが、かつて、たちまち陸の孤島と化した地に、通年車が行き交うようになろうとは、当時それが予想し得たことでしょうか。

一年に一、二度、あわただしく訪ねるふるさととは、その度に、にさまたまな変貌を見せ、三十五年の歳月の重みを無言のうちに語りかけてくれます。なによりも当時とは比較にならない

わしの 自慢

野外での 書は格別です

上野

上村 三 吉さん

十九歳の時から日記をつけ始め、今年で六十二年にもなるといふ上村さんが、書の道を選ばれたのはちょっと遅く、六十七歳になってからといわれる。

「人間一代、何もしないで過ごしたのではならない。人の目に触れ、しかも残るものはないかいろいろ考え、自分に合っているのは書道ということになったのです」

それまでも商店会の広告などを手掛けられていたので、書はお手の物であつたらしい。

「昭和五十一年から五年間は、平野綱一先生に教わりました。五十一、二年は総合センターへ、その後は上野の農協に通いました。一週間に二回、夜七時から二時間くらいでしたので、それほど難儀し

たとは思いません」

雅号は信風といわれる。

「詩吟をやっていたので、それを使いました。信は信濃川を意味します」

習い始めは階書、それから百人一首でもかなりけいこを積まれたそうだが、現在は草書を主体にしていられる。

「気分が落ち着いた時でないと筆は持てません。季節では、陽気の良い春と秋に多く書くことになりました」

年に五、六十枚とのことだが、書いたものは全部茶箱にしまっておかれる。

「信濃川の河原や神社の裏で書いたりもしました。小根岸の弁天様のこけを下敷きにして書いた時は最高の気分でした。これからも野外で筆を持ちたいです」と上村さんは目を細められた。

「つるは千年の松に宿る」と読みます」と上村さん

鶴の千年



公立高等学校

定時制・通信制課程で

生徒募集

働きながら高等学校教育を受けることができる定時制・通信制課程の昭和61年度入学生を次により募集しています。

◆募集している学校

定時制 県内の公立高等学校
20校24学級(十日町
高等学校は1学級40
人)

通信制 新潟高等学校(〒951
新潟市関屋下川原町
2丁目635番地)
高田南城高等学校(〒943
上越市南城町
3丁目3番8号)

◆応募資格

- ・昭和61年3月に中学校またはこれに準ずる学校を卒業する見込みの人
- ・中学校またはこれに準ずる学校を卒業した人
- ・中学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人

◆願書提出

次の期間に応募する学校へ

定時制 2月6日～2月13日
(正午)

通信制 2月21日～4月10日

◆学力検査(定時制課程だけ)

3月17日(月) 国語・数学
・英語・社会・理科について
全日制と同時に実施

◆問い合わせ

出願手続き 出身中学校

学習内容等 出願する高等学校

その他 県教育庁高等学校教育課(〒950 新潟市
新光町4番地1) ☎
0252(85) 5511内線
3881・3882・3883

停電の
お知らせ

今回はありません。

共同電話の方へ!

電報電話局から

電報電話局では、共同電話の方に次のようなケースが頻発しているため、単独電話へ変更していただくようお勧めします。

- ①相手が話し中だと使えないし、かかってもこない
- ②プライバシーが守れない(普通共同の場合)
- ③プッシュホン、長いコードなどのほか、いろいろな新しい電話機がいつつけられない
- ④相手が故障の場合でも、自分の電話が使えなくなる
- ⑤相手が認定マークのない電話機(ワイヤレスホン)などを買ってつけた場合、自分の電話がかかりにくくなったり、電話料が正確に出ないことがある

※お問い合わせは、十日町電報電話局 ☎(52) 2500(無料)へ。

魚沼高等職業訓練校で

生徒を募集

県立魚沼高等職業訓練校では、次により昭和61年4月入校の生徒を募集しています。

□建築科・左官科

*応募資格

中学校卒業者(61年3月卒業予定者を含む)で、原則として30歳以下の人

*応募方法

61年3月卒業予定の人は学校へ

すでに学校を卒業している人は最寄りの公共職業安定所へ

□配管設備科・建設科

*応募資格

雇用保険の受給資格者

*応募方法

最寄りの公共職業安定所へ

※詳しいことは、北魚沼郡堀之内町 県立魚沼高等職業訓練校 ☎02579(4) 2410へお問い合わせください。

ガイド

情報

雪下ろしを安全に

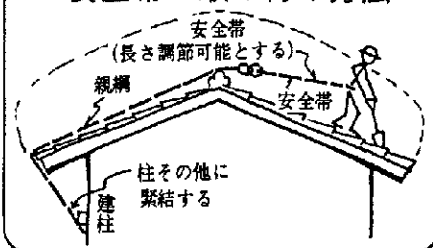
■作業方法

- ①こうばいのゆるい屋根の場合は、作業に十分な幅を確保しながら堀り下げて、妻側方向に運搬しながら除雪する。
- ②平屋根の場合は、ひさしから2メートルくらい内側で堀り下げて安全ヤードを作った後、外周の除雪を行う。
- ③屋根下において雪庇落としをする場合は、竹ざおの先にコスキまたは板などを取り付け、少しずつ落とす。
- ④雪庇落とし、軒先付近での作業、こうばいの急なところではスノードンプを使用しない。
- ⑤屋根面の滑り防止のため、必要な堀り残しをする。
- ⑥雪下ろしと地上での雪かたづけなどの上下同時作業は行わない。
- ⑦最下段の雪止め、あるいは軒先1m以内には立ち入らない。
- ⑧軒先を背にした作業をしない。

■墜落防止

- ①墜落の危険のある高さ2m以上の屋根上で作業する場合には、安全帯を使用する。
- ②スレート、木毛板等の材料でふかれた屋根上で作業を行う場合は、踏み抜きによる危険を防ぐ。
- ③カンジキを着用する。

安全帯の取り付け方法



※これらの屋根除雪作業の安全対策は、新潟労働基準局が策定したものです。



次の善意が寄せられました。

◆一般寄付金

*滋野定良さん(野口)から五万円

*高橋忠策さん(東京・中央区)から、広報発行の一助にと一万円

◆社会福祉協議会へ

*小嶋俊一さん(新町新田)から三万円

*松屋織物から三十万円

*小林市蔵さん(元町)から五万円

民俗資料

・高橋一さん(三領)から、カイゾリ、マンガワ、平グワ
・川崎定則さん(越ヶ沢)から、おひつ(ごったく用)、ワッパ、パン焼き器、三味線、商いカゴ、防空ズキン、紙切り

新しい嘱託員

包丁、竜吐口、ツヅラ、髪飾り用品、ほか多数
・星名正男さん(伊友)から、竹割りナタ、木葉ヘギナタ、金ツチ(木葉クギ用)
・羽鳥幸蔵さん(伊友)から、大阪ワイゴ(鍛治用)

〔千手地区〕

(敬称略)

□中島町 小海 時夫
□山野田 鈴木 栄一
□発電所通西 平野 俊二
□発電所通東 高橋 順興
□永久公舎 南雲 一夫
□栄町 北野 斉
□山野田住宅 原田 完二
□県営住宅 山田 彦道
□朝日町 中村 春男
□四郎兼 中条 誓一郎
□東善寺 丸山 捷一
□上町 北村 米男
□中央町 清水 倫六
□田中町 太田 克治
□神社町 高橋 和子
□学校町 半藤伊三郎
□中屋敷 小林 十八
□寺尾 白井 敏夫
□木島 中条 敏吉
□沖立 数藤 徳義

〔上野地区〕

□伊友 羽鳥 力夫
□高原田 星名 由松
□坪山 高橋トシエ
□霜条 丸山 利夫
□鶴吉 渡辺 強
□木島公舎 青木 孝

根津 正治

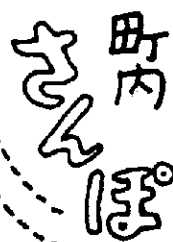
〔橘地区〕

□新町新田 若山 昭治
□木落 羽鳥 欣一
□寺ヶ崎 高津富士男
□塩辛 藤巻 幸夫
□仁田 小幡 正徳
□野口 滋野 定良
□原田 丸山 康一

庁内人事

*新採用/一月一日付
▽高橋進(地域休養施設調理員)

□根深 丸山久一郎
□下原 田中 久義



「年代別食生活のあり方」 総合センターで講演会



講演をされる西潟さん

会議の後、「年代別食生活のあり方」と題して、県農業専門技術員室の西潟範子さんの講演がありました。

メモを紹介します。

主食である米の消費量が少なくなってきたが、米は栄養価が高く、特にカロリーやたんぱく質は米に勝るものがない。必要なカロリーの六〇%を米でとるのがよい。米に、魚、大豆、牛乳、野菜などをバランスよく組み合わせてほしい。

●年代別の食生活のポイント

先月二十三日、総合センターで川西町米消費拡大推進協議会が開かれ、六十一年度事業内容の検討や米消費の実態などが話し合われました。

0～10歳 愛情をかけて育てること、カルシウム不足に気をつける。おやつは手づくりのものを望む。

11～15歳 食事のマナーを身につけさせる。特に野菜を豊富にする。

16～25歳 外食を少なくし、片寄った食事とならないように注意する。

26～35歳 家庭形成の時代で忙しいが、きちんとした食事は子供の教育にもつながる。

36～45歳 子供が大きくなり、食費もかさんでくるが、食卓の彩りを常に考えてほしい。

年を取ると肥満になりやすくなるので、油、砂糖を減らし、低カロリーの食事をしてほしい。

食品の数を多くすれば、栄養のバランスはとれる。また、地場の物、時季の物を食べることが勧めたい。

くらしと健康

年間テーマは

器官の働き

人間の器官を働かせることに大きく分けると、脳神経系、循環器系、消化器系、内分泌系（ホルモン）、骨運動器系、感覚器系、生殖器系の七つになります。

今年は、この中の、脳、循環器、消化器の働きをテーマに取り上げていきます。

健康のときは、体を気遣うことをしませんが、体調が崩れたりすると絶えずそのことが頭から離れず、よいいな神経を使っている場合があります。

器官によつては、神経過敏なところと鈍感なところがありますし、ときどき休める器官とずっと休めない心臓などの器官があります。

人それぞれ顔や体形が異なるように、内臓にも能力の差があります。何を食べてもだいたいようぶな人と、少し気になる物を食べると



すぐに下痢をする人がいます。が、これはそのよい例です。また、年齢が増すとともに機能が低下するというのを知って、じょうずに生活するよううくふうしてください。

私たちは、なにげなく毎日を送っていますが、日本人の平均寿命は世界一位（昭和五十九年、男七四・五四歳、女八〇・一八歳）となり、三大死因のガン、脳卒中、心臓病の減少などによって、まだまだ延びるといわれています。

高齢になつてもはつらつとした肉体で日常生活ができるよう、自分の体質をよく知って、各器官を長持ちさせるための努力をしてください。

戸籍の窓から

たかさご一ご円満に

- 新郎 丸山 康二 新町新田
- 新婦 野澤ひとみ 仁田から
- 新郎 滋野 大介 野口
- 新婦 関口 智実 十日町市から
- 新郎 田口 一彦 木落
- 新婦 内藤 博子 巻町から
- 新郎 鈴木 準一 新町新田
- 新婦 加藤 紀子 神奈川県から
- 新郎 丸山 節男 原田
- 新婦 小澤 久子 静岡県から

うぶ声—おすこやかに

- 和久井麻衣 正長女 木落
- 押木 秀美 栄二 二女 元町



太田白南風選

霜条 星名 星光

○徐ろに紅の化粧や初鏡
雪道の広く踏まれし年賀寺
八海の山くつきりと初明り
北風の雪をもてくる厳しき日
経塚という寺山の大冬木

昇天—ごめい福を祈る

- | | | |
|-------|-------|-----|
| 太田 孝政 | 正長男 | 中央町 |
| 若山ひとみ | 俊雄 長女 | 上野 |
| 貴田 剛幸 | 幸吉 長男 | 伊友 |
| 中條 愛 | 一芳 長女 | 岩瀬 |
| 南雲 愛美 | 弘 長女 | 中仙田 |
| 高橋ひとみ | 林市 長女 | 伊友 |
| 引間 健一 | 坪山 | 五四 |
| 小海キヨノ | 三領 | 六九 |
| 内山常治郎 | 新町新田 | 七八 |
| 野澤 隆治 | 仁田 | 八〇 |
| 高橋 ツヨ | 坪山 | 八一 |
| 小林 コイ | 中仙田 | 八二 |
| 丸山キヨノ | 中央町 | 八二 |
| 高橋 リヨ | 田戸 | 八四 |
| 小林 源作 | 中屋敷 | 八六 |
| 中條 松吉 | 大倉 | 八八 |

赤谷 小川 秀

初空の雲の切れ目の光射す
雪消える頃逢いたしと賀状来る
活けてより紅の艶やか実南天
子等帰り静かなる雪松の内

三領 水品 律

餅花を飾る柱の煤ひかり
初詣道踏み番の五人衆
餅花のにぎわい父母の在りし頃
幼き手借り毛糸玉太らせる

中仙田 左木 人

幾何と古暦となり剣きにくき
手に降りて雪のかすかな水なりし
雪嶺のまろやかに盆に置く如く

野口 野沢 寅生

庭木みな葉づとの中山の寺
荒れ果てし空家に残る実南天
北窓を塞ぐ機軒軒ひくし
口数も少なき老の注連をなう

心配ごと相談

(午後一時から)

- 1月14日.....橘出張所
- 1月22日.....克雪センター
- 1月29日.....総合センター
- 2月5日.....上野連絡所
- 2月12日.....橘出張所

12月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	死傷者	酒気	酒気
0	(1)	17	(12)	0	(1)
0	(1)	25	(10)	0	(1)
0	(0)	0	(1)	3	(1)
0	(1)	0	(0)	22	(25)

()内は前年比較